

高坂分署庁舎新築工事（機械設備）

設 計 図

令和6年12月



株式会社 第一建築設計事務所

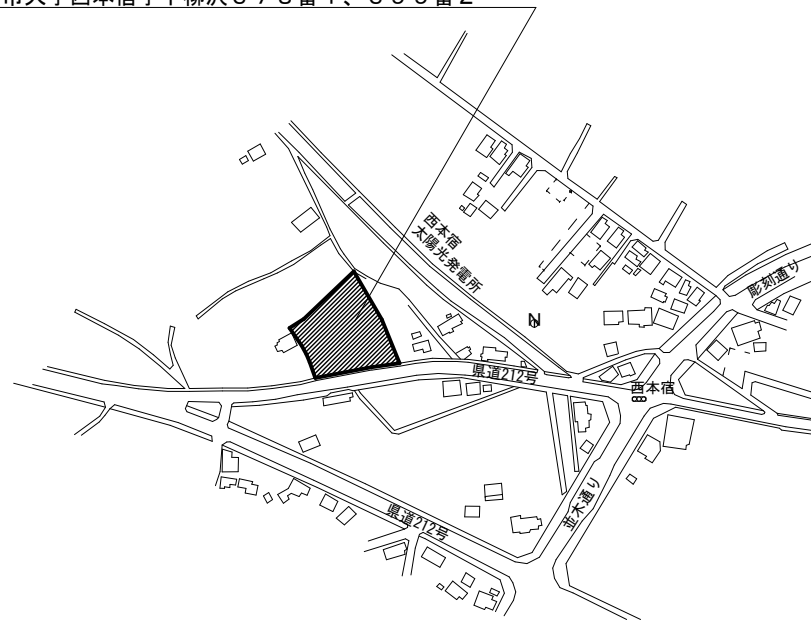
図番	図面名称	図番	図面名称
	■機械設備工事		
M-00	図面リスト	M-11	計装設備 2階平面図
M-01	工事区分リスト	M-12	機器表・器具表・凡例
M-02	機械設備工事特記仕様書(1)	M-13	給水設備 外構図
M-03	機械設備工事特記仕様書(2)	M-14	系統図
M-04	配置図・案内図	M-15	衛生設備 1階平面図
M-05	機器表	M-16	衛生設備 2階平面図
M-06	空調設備 1階平面図	M-17	衛生設備 屋上平面図
M-07	空調設備 2階平面図	M-18	浄化槽詳細図
M-08	換気設備 1階平面図		
M-09	換気設備 2階平面図		
M-10	計装設備 1階平面図		

● 空気調和設備	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>																																				
	① 設計温度	<table border="1"> <tr> <td></td> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <td></td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>37.2℃</td> <td>47.1%</td> <td>26 ℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.7℃</td> <td>48.9%</td> <td>22 ℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>		外 気				屋 内					温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	37.2℃	47.1%	26 ℃	9%	℃	9%	℃	9%	冬 期	0.7℃	48.9%	22 ℃	9%	℃	9%	℃
	外 気				屋 内																																
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																													
夏 期	37.2℃	47.1%	26 ℃	9%	℃	9%	℃	9%																													
冬 期	0.7℃	48.9%	22 ℃	9%	℃	9%	℃	9%																													
● 空気調和設備	② 総合運転調整	<p>※本工事 ・ 別途</p> <table border="0"> <tr> <td>風量調整</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>水量調整</td> <td>・する</td> <td>※しない</td> </tr> <tr> <td>騒音の測定</td> <td>・する</td> <td>※しない</td> </tr> </table> <p>室内気流及びじんあいの測定</p> <table border="0"> <tr> <td>・する</td> <td>※しない</td> </tr> <tr> <td>初期運転状態の記録</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>工事対象範囲の既設機器運転状態の記録</td> <td>・する</td> <td>※しない</td> </tr> </table>	風量調整	※する	・しない	水量調整	・する	※しない	騒音の測定	・する	※しない	・する	※しない	初期運転状態の記録	※する	・しない	工事対象範囲の既設機器運転状態の記録	・する	※しない																		
風量調整	※する	・しない																																			
水量調整	・する	※しない																																			
騒音の測定	・する	※しない																																			
・する	※しない																																				
初期運転状態の記録	※する	・しない																																			
工事対象範囲の既設機器運転状態の記録	・する	※しない																																			
	3 煙 道	<p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・ 4.5mm)</p> <p>(2) ばい煙濃度計 ※設ける ・ 設けない</p> <p>(3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・ 設けない</p>																																			
	4 煙 突	※別途 ・ 本工事																																			
	5 長方形ダクト	<p>※低圧ダクト (垂鉛鉄板製)</p> <p>長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法</p> <p>それ以外の部分 ※アングルフランジ工法</p> <p>・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製)</p> <p>・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>																																			
	6 円形ダクト	<p>※スパイラルダクト (※垂鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・ 保温無)</p> <p>(注)1 使用区分は図示による。</p>																																			
	7 風量測定口	<p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。</p> <p>送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p>																																			
	8 チャンパー	<p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。</p> <p>(2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。</p> <p>・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750</p> <p>(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p>																																			
	9 吹出口及び吸込口ボックス	※垂鉛鉄板製 ・ グラスウール製																																			
	10 ダンパー	<p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下</p> <p>(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p>																																			
	① 配管材料	<p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・</p> <p>(3) ブライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・</p> <p>(4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管</p> <p>(保温厚mm) ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上)</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管 V P</p> <p>ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (LXDACT/レパ) 相当品) ・ 耐火二層管 V P (F D P S - 1) ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管 V P</p> <p>(消防協議事項:)</p> <p>ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・</p> <p>運管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ ステンレス鋼管</p> <p>(8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・</p>																																			
	12 弁 類	<p>規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。</p>																																			
	13 温度計	<p>取付部は下記による。</p> <p>※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共)</p> <p>※ダクト接続形空調機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー</p> <p>※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p>																																			
	14 圧力計	<p>取付部は下記による。</p> <p>※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共)</p> <p>※空気調和機の冷温水管 (出入口共)</p> <p>※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p>																																			
	15 瞬間流量計	<p>瞬間流量計はビト管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・ 個) 付属とする。</p> <p>・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。</p> <p>・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。</p>																																			
	16 油面制御装置	<p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減油警報 ・ 過満警報 ・ 電磁弁制御 ・ ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。</p> <p>なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p>																																			
	17 冷却塔	<p>※直交流式 ・ 向流式</p> <p>※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・</p> <p>補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>																																			

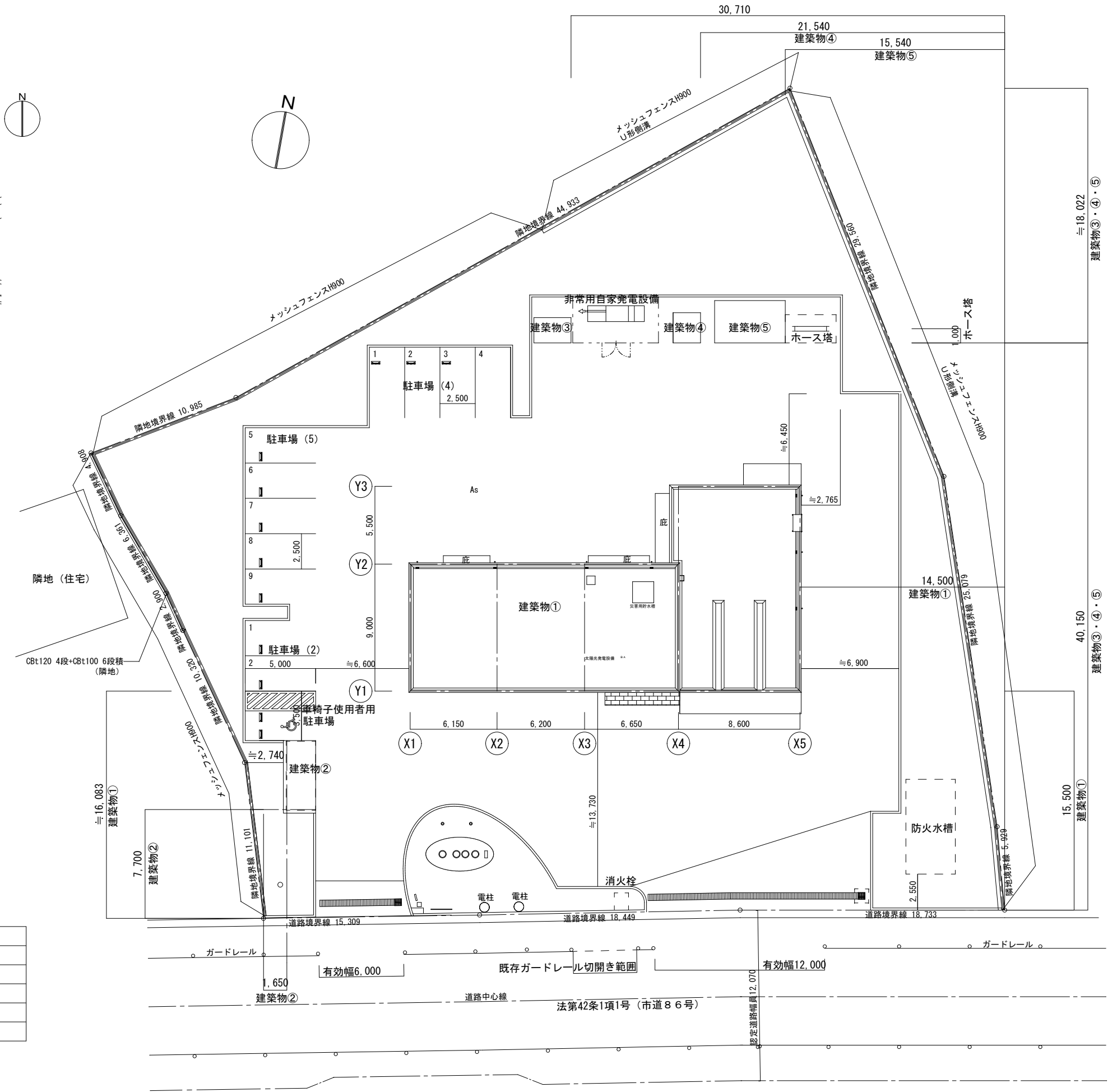
● 換気設備	⑬ 空気熱源ヒートポンプ空調機	<p>標準仕様書によるほか下記による。</p> <p>(1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・ オンオフ制御</p> <p>(2) 冷媒 HFC (R 4 1 0 A、R 3 2又はR407C)</p> <p>(注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。</p> <p>(注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。</p> <p>(3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>									
● 換気設備	① 長方形ダクト	<p>※低圧ダクト (垂鉛鉄板製)</p> <p>長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法</p> <p>それ以外の部分 ※アングルフランジ工法</p> <p>・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製)</p> <p>・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>									
	2 円形ダクト	<p>※スパイラルダクト (※垂鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・保温付 ・ 保温無)</p> <p>(注)1 使用区分は図示による。</p>									
	3 風量測定口	<p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。</p> <p>送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p>									
	4 チャンパー	<p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。</p> <p>(2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。</p> <p>・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750</p> <p>(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けられるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p>									
	5 ダンパー	<p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下</p> <p>(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p>									
	6 多湿箇所の排気ダクト	<p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画直通箇所は換気用耐火二層管) を使用できる。</p> <p>※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・</p> <p>(2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p>									
	⑦ 保 温	<p>下記のダクトの保温を行う。</p> <p>※全熱交換器用の隠れ部ダクト</p> <p>仕様はN ・ (ロ) ・ X Iとする。</p> <p>保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。</p> <p>※ (※厨房 ・ 湯沸室 ・) 用の隠蔽部ダクト (仕様はh ・ (イ) ・ IXとし範囲は図示による)</p>									
	⑧ 試運転調整	<table border="0"> <tr> <td>風量調整</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>風量測定</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>騒音の測定</td> <td>・する</td> <td>※しない</td> </tr> </table>	風量調整	※する	・しない	風量測定	※する	・しない	騒音の測定	・する	※しない
風量調整	※する	・しない									
風量測定	※する	・しない									
騒音の測定	・する	※しない									
○ 排煙設備	1 ダクト	※垂鉛鉄板 ・									
	2 排煙口の形式	※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)									
	3 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・ 電気式 (遠隔操作 ・ 不要 ・ 要)									
	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。									
● 自動制御	① 中央監視制御装置	●有り ※無し									
	② 構成・機能	図示による									
	3 電気計装用機材	<p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。</p> <p>天井内隠れ電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>									
	① 小便器用排水装置	JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。									
	2 バリアフリー対応	<p>・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形</p> <p>手すり (・本工事 ※別途工事)</p> <p>・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部)</p> <p>・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式</p> <p>※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド</p> <p>・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (・照明無 ・ 照明付)</p>									
● 衛生器具設備	③ 衛生器具付属水栓	<p>(1) 器具付属止水水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式</p> <p>(2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p>									
	④ 自動水栓類の電源	※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電									
	⑤ 暖房便座	<p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。</p> <p>(2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房</p> <p>(3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式</p> <p>(4) 使用流体は、飲料用水道水とする。</p> <p>(5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電</p>									
	⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク	<p>器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型 ・ 節水Ⅱ型とする。</p> <p>洗浄弁操作方式は、※手動式 ・ 電気開閉式 (※センサー式 ・ タッチスイッチ式) ・ 上階層で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p>									
	7 大便器耐火カバー	※設ける (ピット内は除く) ・ 設けない									
	⑧ 掃除流し	※共栓なしとする。 ・ 共栓付とする。									
	⑨ 排水器具用ゴム継手	※使用できる ・ 使用できない									
	10 標 記 板	大便器、小便器の洗浄用に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。									
	11 水せつけん入れ	せつけん供給栓がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗いに設ける。									

● 給水設備	⑭ 振音装置	<p>・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事)</p> <p>・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事)</p> <p>・バリアフリートイレブースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事)</p> <p>衛生設備器具の適用等の必要などは別途衛生設備器具表による。</p>																																						
	⑮ そ の 他																																							
● 給水設備	① 配管材料	<p>配管材料は、※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ ポリプレン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>・H1VP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリプレン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリプレン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリプレン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリプレン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリプレン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管</td> </tr> </table> <p>(注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ・ ゴブ) ※以て拡張 便所 ・ 廊下流し 漏り露出配管 (※拡張) とする。</p> <p>2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。</p> <p>3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、該接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。</p> <p>4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。</p> <p>5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。</p> <p>6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p> <p>7. 地中埋設部 (水道直結部分) は水道事業者の指示による。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリプレン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部 (水道直結部分)	・H1VP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	県営住宅 住戸内	※ポリプレン管 (さや管ヘッダー工法)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリプレン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリプレン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管	湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリプレン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリプレン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管
施 工 箇 所	管 種 別																																							
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリプレン管																																							
ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管																																							
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																							
地中埋設部 (水道直結部分)	・H1VP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																							
地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																							
県営住宅 住戸内	※ポリプレン管 (さや管ヘッダー工法)																																							
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																							
便所天井内	※ポリプレン管 (10mm保温付)																																							
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリプレン管																																							
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管																																							
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管																																							
湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管																																							
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																							
地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・																																							
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																							
便所天井内	※ポリプレン管 (10mm保温付)																																							
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリプレン管																																							
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリプレン管																																							
● 給水設備	2 一体形タンク	<p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p>																																						
	③ 水 栓	<p>※給湯用水栓を除き大きめの呼び13の水栓は、節水コマとする。</p> <p>・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p>																																						
	④ 量 水 器	※観メーター (※貸与品 ・) ・ 子メーター (※買取り ・)																																						
	⑤ 量水器柵	※水道事業者指定品 ・ 標準図MC形																																						
	⑥ 弁 類	<p>規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p>																																						
	7 水 栓 柱	・防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓																																						
	8 建物導入部配管	<p>図示部分について下記のとおり施工する。</p> <p>※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。</p> <p>・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p>																																						
	9 検針方法	<p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p>																																						
	⑩ 水道利用加入金	<p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。完了検査費用は本工事を含む。</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>																																						
● 排水設備	① 配管材料	<p>配管材料は、※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>雑排水配管</td> <td> <p>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</p> <p>※RF-V P又はリサイクルV P ・ V P</p> <p>※SGP (白) ・</p> <p>耐火性能を要求される箇所</p> <p>※耐火二層管V P (FDPs-1)又は耐火V P ・ SGP (白)</p> </td> </tr> <tr> <td>汚水配管</td> <td> <p>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</p> <p>※RF-V P又はリサイクルV P ・ V P</p> <p>耐火性能を要求される場所</p> <p>※耐火二層管V P (FDPs-1)又は耐火V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> </td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td> <p>その他の部分</p> <p>※RF-V P又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> </td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td> <p>※RS-V U又はリサイクルV U ・ V U</p> <p>・卵形管 (ゴム輪接合)</p> <p>※REP-V U (軽荷重の場合)</p> <p>・ RF-V P又はリサイクルV P ・ V P</p> </td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td> <p>耐火性能を要求される箇所</p> <p>※耐火二層管V P (FDPs-1)又は耐火V P ・ SGP (白)</p> </td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td> <p>※リサイクルV P又はRF-V P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> </td> </tr> </table> <p>(注)1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-V P、RS-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。</p> <p>2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。</p> <p>3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV 45度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	雑排水配管	<p>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</p> <p>※RF-V P又はリサイクルV P ・ V P</p> <p>※SGP (白) ・</p> <p>耐火性能を要求される箇所</p> <p>※耐火二層管V P (FDPs-1)又は耐火V P ・ SGP (白)</p>	汚水配管	<p>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</p> <p>※RF-V P又はリサイクルV P ・ V P</p> <p>耐火性能を要求される場所</p> <p>※耐火二層管V P (FDPs-1)又は耐火V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>	共通	<p>その他の部分</p> <p>※RF-V P又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>	地中埋設部	<p>※RS-V U又はリサイクルV U ・ V U</p> <p>・卵形管 (ゴム輪接合)</p> <p>※REP-V U (軽荷重の場合)</p> <p>・ RF-V P又はリサイクルV P ・ V P</p>	通気配管	<p>耐火性能を要求される箇所</p> <p>※耐火二層管V P (FDPs-1)又は耐火V P ・ SGP (白)</p>	その他の部分	<p>※リサイクルV P又はRF-V P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>																								
施 工 箇 所	管 種 別																																							
雑排水配管	<p>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</p> <p>※RF-V P又はリサイクルV P ・ V P</p> <p>※SGP (白) ・</p> <p>耐火性能を要求される箇所</p> <p>※耐火二層管V P (FDPs-1)又は耐火V P ・ SGP (白)</p>																																							
汚水配管	<p>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</p> <p>※RF-V P又はリサイクルV P ・ V P</p> <p>耐火性能を要求される場所</p> <p>※耐火二層管V P (FDPs-1)又は耐火V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>																																							
共通	<p>その他の部分</p> <p>※RF-V P又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>																																							
地中埋設部	<p>※RS-V U又はリサイクルV U ・ V U</p> <p>・卵形管 (ゴム輪接合)</p> <p>※REP-V U (軽荷重の場合)</p> <p>・ RF-V P又はリサイクルV P ・ V P</p>																																							
通気配管	<p>耐火性能を要求される箇所</p> <p>※耐火二層管V P (FDPs-1)又は耐火V P ・ SGP (白)</p>																																							
その他の部分	<p>※リサイクルV P又はRF-V P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p>																																							

	② 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。
	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・ 満水試験用掃除口ソケット
	4 柵の適用	別紙柵表による。
● 給湯設備	① 配管材料	<p>・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管 (M鋼管)</p> <p>・一般配管用ステンレス鋼管</p> <p>・ポリプレン管 (さや管ヘッダー工法)</p>
	2 絶縁フランジ	<p>取付部は下記による。</p> <p>※鋼管と鋼管及びこれに類する部分</p> <p>※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p>
	③ 弁 類	<p>(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。</p> <p>(2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。</p>
	4 ガス瞬間湯沸器	※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS扉内設置の潜熱回収型 ●扉内壁掛け形
	⑤ 電気給湯器	<p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>
○ 消火設備	1 配管材料	<p>屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・ S T P G 370 (白) Sch40</p> <p>地中埋設※SGP-V S ・ H1VP</p> <p>消火用 一般配管※SGP (白) ・ S T P G 370 (白) Sch40</p> <p>地中埋設※SGP-V S ・ H1VP</p> <p>・高密度ポリエチレン管 (消火用)</p> <p>不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・ S T P G 370 (白) Sch80</p>
	2 建物導入部配管	<p>図示部分について下記のとおり施工する。</p> <p>※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。</p> <p>・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p>
○ ガス設備	1 配管材料	<p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。</p> <p>・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・ SGP (白) 地中埋設 ※PE管</p>
	2 ガス漏れ警報遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。
	3 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。
○ 厨房設備	1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。
	2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓
	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。
舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書		
第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。		
第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。		
・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) ・ m ³		
・中間処理施設 市 地内 (株)		
・処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場へ搬入 (処理に焼却又は溶融含まず) ・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む)		
2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。		
第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。		
2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。		
3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。		
4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。		
第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。		
2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。		
第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変った場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。		
2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。		
3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。		
※本工事に関係する法令、条例及び規則等は遵守し必要がある申請、届出、手続等はすべて受注者がおこない、これに要する費用は受注者の負担とする。別発注の工事に含むものは除く。		
・消防用設備等設置届出書 (消火器)		
※工事理由による変更が生じた場合の申請、届出、手続等については、すべて受注者がおこない、これに要する費用は受注者負担とする		



案内図 Nonscale



建築物リスト

番号	用途
建築物①	消防署分署 (庁舎)
建築物②	自転車駐車場
建築物③	倉庫 (ごみ集積所)
建築物④	倉庫 (少量危険物倉庫)
建築物⑤	倉庫 (水防倉庫)

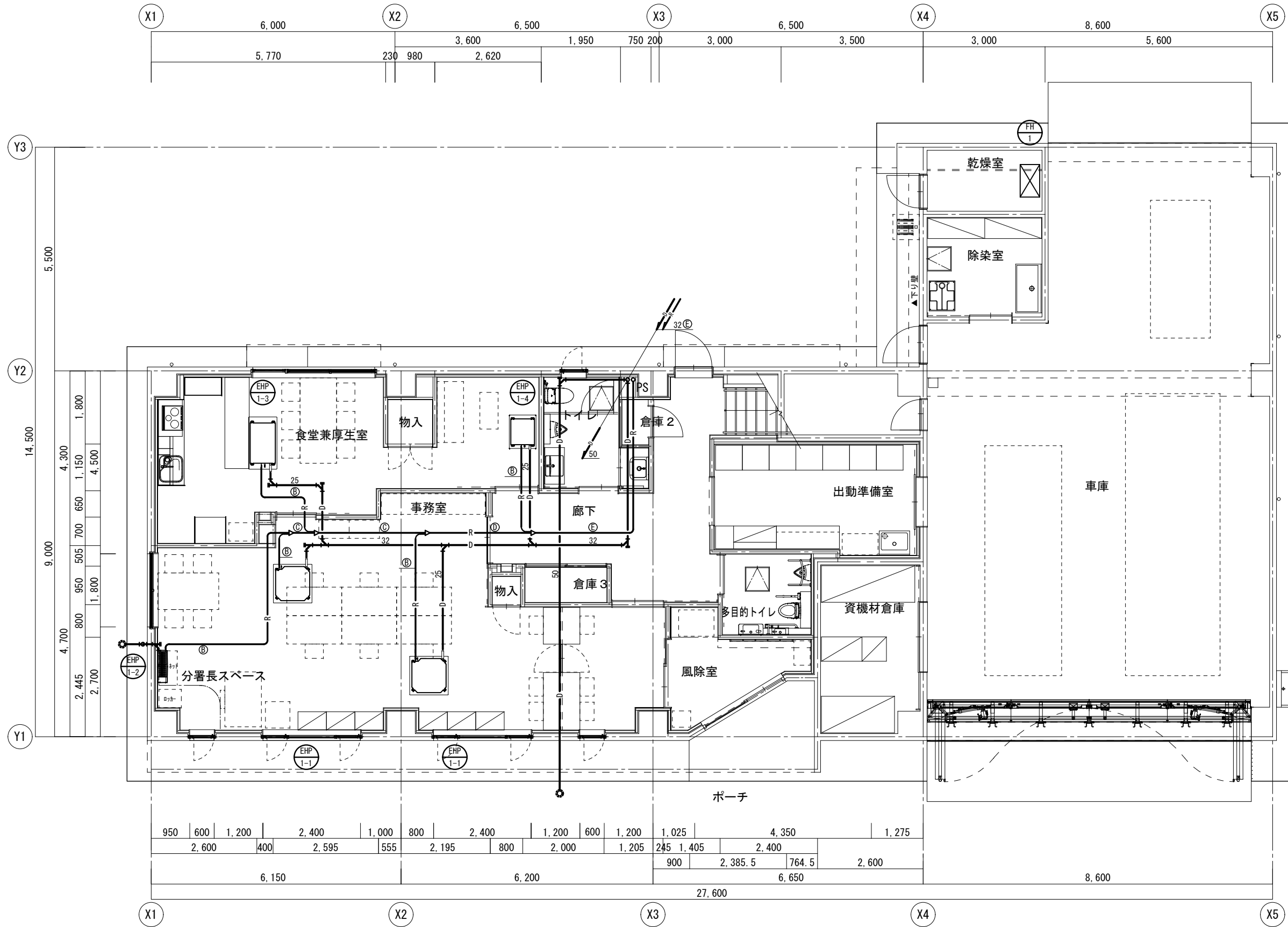
配置図

新設機器表					
記号	名称	仕様	電気容量(参考)	数量	備考
	<空調設備>				
EHP-1	空冷ヒートポンプエアコン	室外機 冷房能力:25.0kW 暖房能力:28.0kW 冷媒配管(液:9.52φ,ガス:22.22φ) スプリング防振架台,転倒防止金具, 他付属品一式共	3φ200v 冷房:7.67kW 暖房:7.18kW	1	陸屋根(歩行用) RXTA280A 相当品
EHP-1-1	空冷ヒートポンプエアコン	4方向天井カセット形 冷房能力:4.5kW 暖房能力:5.0kW 冷媒配管(液:6.35φ,ガス:12.7φ) 液晶ワイヤードリモコン,標準フィルター, 標準パネル,防振ハンガー 他付属品一式共	1φ200v 冷房:0.037kW 暖房:0.034kW	2	1F事務室 FXFYA45NAA 相当品
EHP-1-2	空冷ヒートポンプエアコン	壁掛形 冷房能力:1.6kW 暖房能力:1.8kW 冷媒配管(液:6.35φ,ガス:12.7φ) 液晶ワイヤードリモコン,標準フィルター, 標準パネル,勾配レスドレンアップ,防振ハンガー 他付属品一式共	1φ200v 冷房:0.010kW 暖房:0.009kW	1	1F分署長室 FXYYA16AA 相当品
EHP-1-3	空冷ヒートポンプエアコン	2方向天井カセット形 冷房能力:5.6kW 暖房能力:6.3kW 冷媒配管(液:6.35φ,ガス:12.7φ) 液晶ワイヤードリモコン,標準フィルター, 標準パネル,防振ハンガー 他付属品一式共	1φ200v 冷房:0.059kW 暖房:0.056kW	1	1F食堂兼厚生室 FXYYA56AA 相当品
EHP-1-4	空冷ヒートポンプエアコン	1方向天井カセット形 冷房能力:2.2kW 暖房能力:2.5kW 冷媒配管(液:6.35φ,ガス:12.7φ) 液晶ワイヤードリモコン,標準フィルター, 標準パネル,防振ハンガー 他付属品一式共	1φ200v 冷房:0.038kW 暖房:0.038kW	1	1F食堂兼厚生室 FXYYA22AA 相当品
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン	室外機 室内機:4方向天井カセット形 冷房能力:10.0kW 暖房能力:11.2kW 冷媒配管(液:9.52φ,ガス:15.88φ) 室外機:スプリング防振架台,転倒防止金具, 室内機:液晶ワイヤードリモコン,標準フィルター,防振ハンガー	3φ200v 冷房:2.47kW 暖房:2.35kW	1	室外機:陸屋根(歩行用) 室内機:2F会議室 SZRC112BY 相当品
AC-1	ルームエアコン	室外機 室内機:1方向天井カセット形 冷房能力:2.8kW 暖房能力:4.0kW 冷媒配管(液:6.35φ,ガス:9.52φ) 室外機:転倒防止金具, 室内機:かんたんリモコン,標準フィルター,防振ハンガー	1φ200v 冷房:0.69kW 暖房:1.02kW	6	室外機:陸屋根(歩行用) 室内機:2Fルーム1~6 S28ZQRV 相当品
SRS-1	集中リモコン	タッチパネル式集中管理コントローラー 最大64グループ、128台集中管理 制御・監視(運転/停止、温度、風量、風向、異常履歴表示) 自動制御機能(スケジュール機能、設定温度制限機能、強制停止機能) 他付属品一式共	1φ100v	1	1F事務室 DCL401B1 相当品
FH-1	暖房乾燥機	天吊形 電熱式ファンヒーター 暖房能力2.0kW 風量7.8m3/min 手元スイッチ, 他付属品一式共	3φ200v 2.0kW	1	1F乾燥室 DFS-200PU 相当品

※パッケージエアコンの定格冷暖房能力、定格冷暖房消費電力はJIS B 8616で規定された値である。
 ※ルームエアコンの定格冷暖房能力、定格冷暖房消費電力はJIS C 9612で規定された値である。
 ※マルチエアコンは、R32冷媒漏れ対策を施すこと。

新設機器表					
記号	名称	仕様	電気容量(参考)	数量	備考
EF-1	レンジフード	低騒音形 150φ x 180m3/h x 50Pa 防振ハンガー, FD付丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 他付属品一式共	1φ100v 50.0w	1	1F厨房 V-602K9 相当品
EF-2	天井扇	低騒音形 150φ x 210m3/h x 30Pa 防振ハンガー, 丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 他付属品一式共	1φ100v 20.0w	1	1F出勤準備室 VD-18ZB14 相当品
EF-3	天井扇	低騒音形 100φ x 190m3/h x 20Pa 防振ハンガー, 丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 他付属品一式共	1φ100v 20.0w	6	1Fトイレ、多目的トイレ、 資機材倉庫、乾燥室 2F洗面脱衣室1.2 VD-15ZP14 相当品
EF-4	天井扇	低騒音形 100φ x 130m3/h x 40Pa 防振ハンガー, 丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 他付属品一式共	1φ100v 14.0w	4	1F除染室、 2Fトイレ1.2、書庫 VD-15Z14 相当品
EF-5	天井扇 (24h対応)	低騒音形 100φ x 30m3/h x 40Pa 防振ハンガー, 丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 他付属品一式共	1φ100v 7.2w	1	1F分署長室 VD-10ZC14 相当品
EF-6	天井扇	低騒音形 100φ x 80m3/h x 40Pa 防振ハンガー, 丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 他付属品一式共	1φ100v 13.5w	1	2F倉庫 VD-10ZSJ14 相当品
EF-7	天井扇 (24h対応)	低騒音形 100φ x 60m3/h x 40Pa 防振ハンガー, 丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 他付属品一式共	1φ100v 13.5w	6	2F仮眠室1~6 VD-10ZSJ14 相当品
VF-1	排風機	ストレートシロココラインファン 400φ x 2,250m3/h x 200Pa 他付属品一式共	3φ200v 0.4kW	1	1F車庫 4LFM45.4 相当品
HEX-1	全熱交換機 (24h対応)	天井埋込形 150φ x 300m3/h x 50Pa コントロールスイッチ, 防振ハンガー, 丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 丸形フラットフード(SUS製,防虫網), 他付属品一式共	1φ100v 215.0w	1	1F食堂兼厚生室 LGH-N35RXW2 相当品
HEX-2	全熱交換機 (24h対応)	天井埋込形 150φ x 270m3/h x 50Pa コントロールスイッチ, 防振ハンガー, 丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 丸形フラットフード(SUS製,防虫網), 他付属品一式共	1φ100v 110.0w	1	1F事務室 LGH-N25RXW2 相当品
HEX-3	全熱交換機 (24h対応)	天井埋込形 200φ x 480m3/h x 50Pa コントロールスイッチ, 防振ハンガー, 丸形フラットフード(SUS製,ギャラリ), 丸形フラットフード(SUS製,防虫網), 他付属品一式共	1φ100v 340.0w	1	2F会議室 LGH-N50RXW2 相当品
	給気口	給排気グリル 150φ用 ネットフィルター付,丸形フラットフード(SUS製,防虫網), 他付属品一式共		2	1F厨房、出勤準備室 P-18GLF6 相当品
	給気口	給排気グリル 100φ用 ネットフィルター付,丸形フラットフード(SUS製,防虫網), 他付属品一式共		8	1F資機材倉庫、乾燥室、除染室 分署長室 2F洗面脱衣室1.2、倉庫、書庫 P-13GLF6 相当品
	給気口	丸形給排気グリル 150φ用 ネットフィルター付,丸形フラットフード(SUS製,防虫網), 他付属品一式共		2	2F廊下 x2 P-18GLC4 相当品

※ 本工事において建物の中水利用は無し。

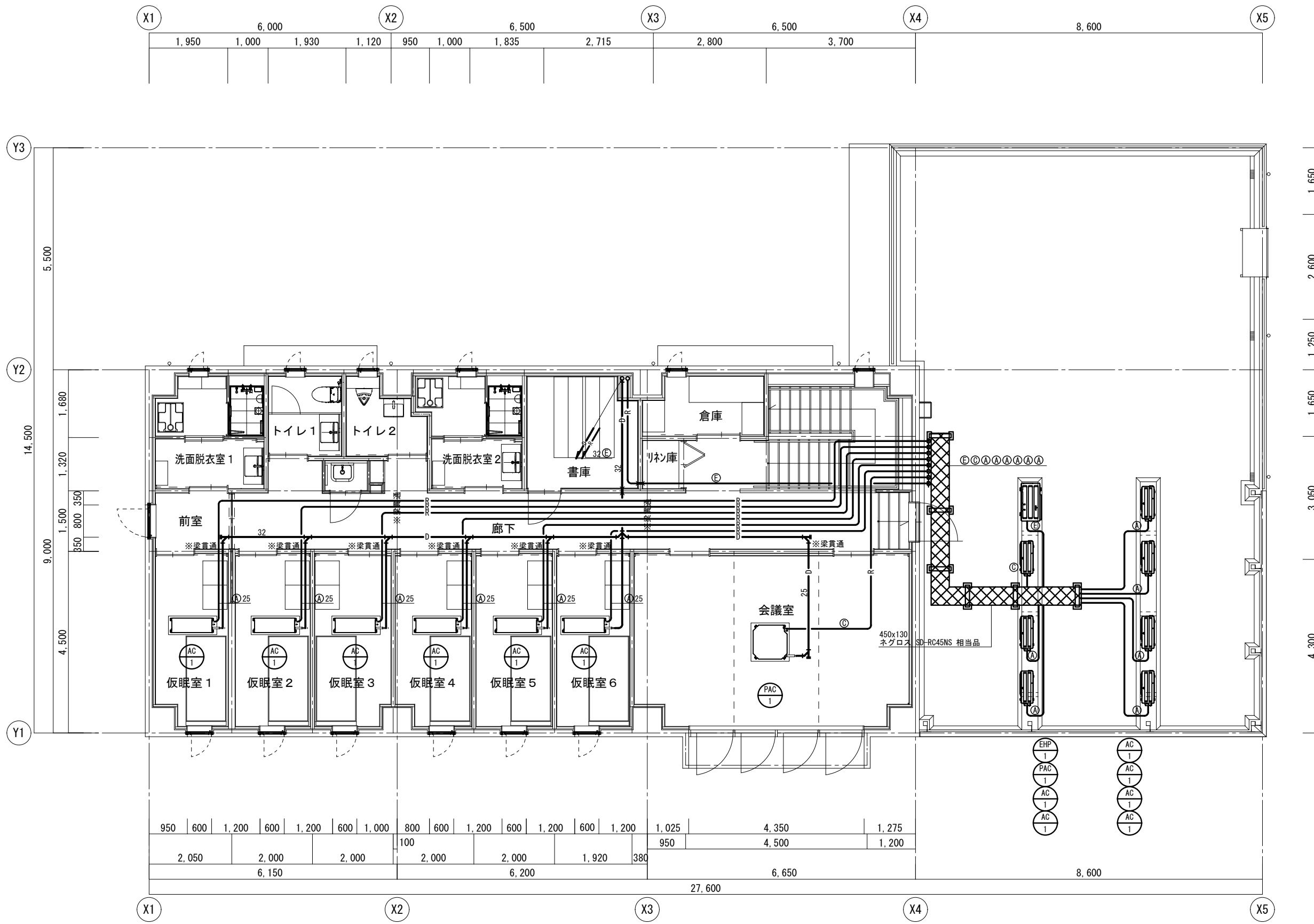


冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35 φ	9.52 φ
Ⓑ	6.35 φ	12.70 φ
Ⓒ	9.52 φ	15.88 φ
Ⓓ	9.52 φ	19.05 φ
Ⓔ	9.52 φ	22.22 φ
Ⓕ	12.70 φ	25.40 φ
Ⓖ	12.70 φ	28.60 φ
Ⓗ	15.88 φ	28.60 φ
Ⓘ	15.88 φ	31.80 φ
Ⓚ	19.05 φ	31.80 φ
Ⓛ	19.05 φ	38.10 φ
Ⓜ	22.22 φ	38.10 φ

※ 冷媒管はメーカーにより異なる。

- (特記事項)
1. 屋外露出の冷媒管は、全て溶融アルミニウムラッキングにて施工すること。
 2. ≡ は、区画貫通位置を示す。
 3. 区画貫通箇所は、国交省認定品（ファイバリア等）を使用とする。
 4. 機器配置は、建築工事・電気工事と十分に調整の上、決定とすること。

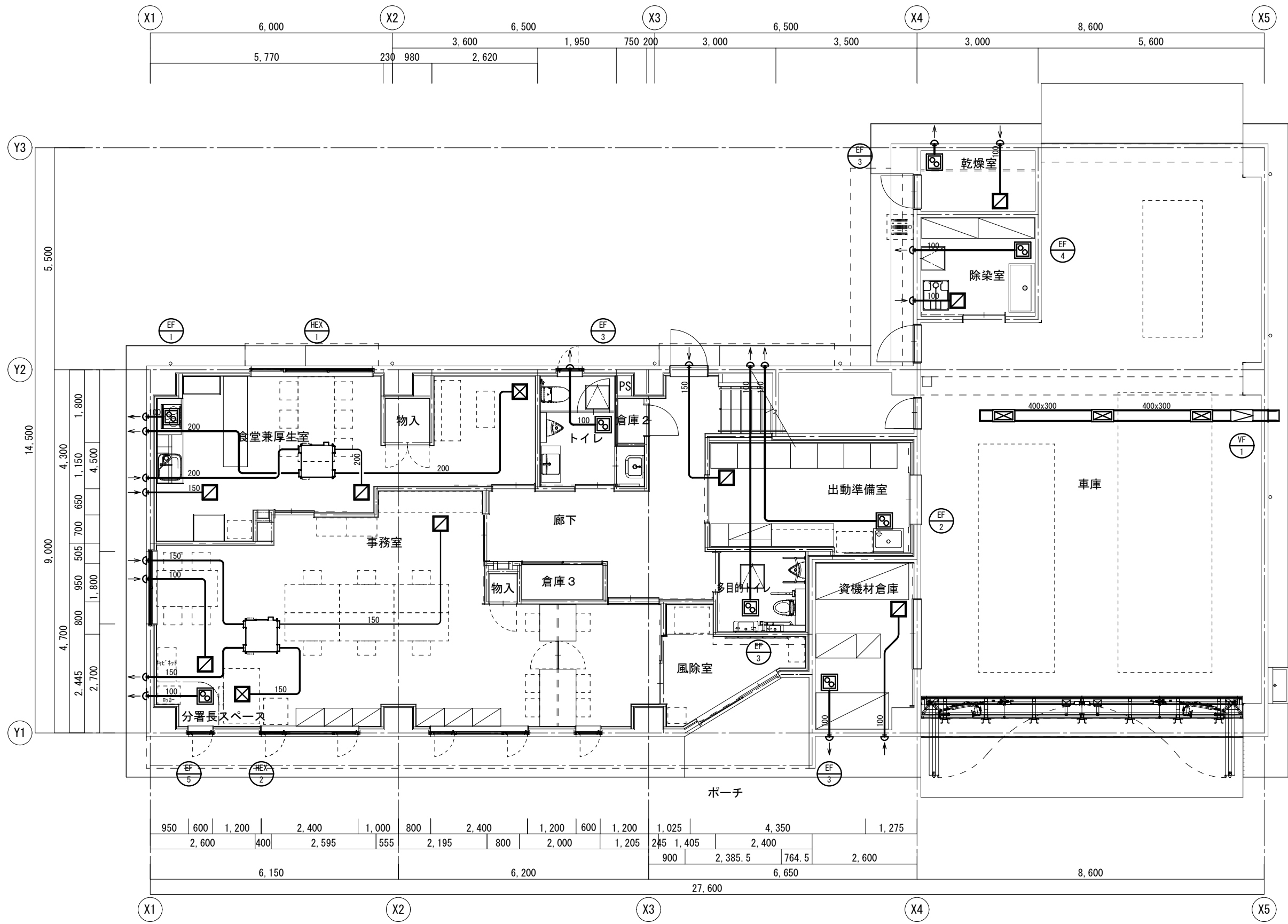


冷媒配管口径表

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35 φ	9.52 φ
Ⓑ	6.35 φ	12.70 φ
Ⓒ	9.52 φ	15.88 φ
Ⓓ	9.52 φ	19.05 φ
Ⓔ	9.52 φ	22.22 φ
Ⓕ	12.70 φ	25.40 φ
Ⓖ	12.70 φ	28.60 φ
Ⓗ	15.88 φ	28.60 φ
Ⓘ	15.88 φ	31.80 φ
Ⓚ	19.05 φ	31.80 φ
Ⓛ	19.05 φ	38.10 φ
Ⓜ	22.22 φ	38.10 φ

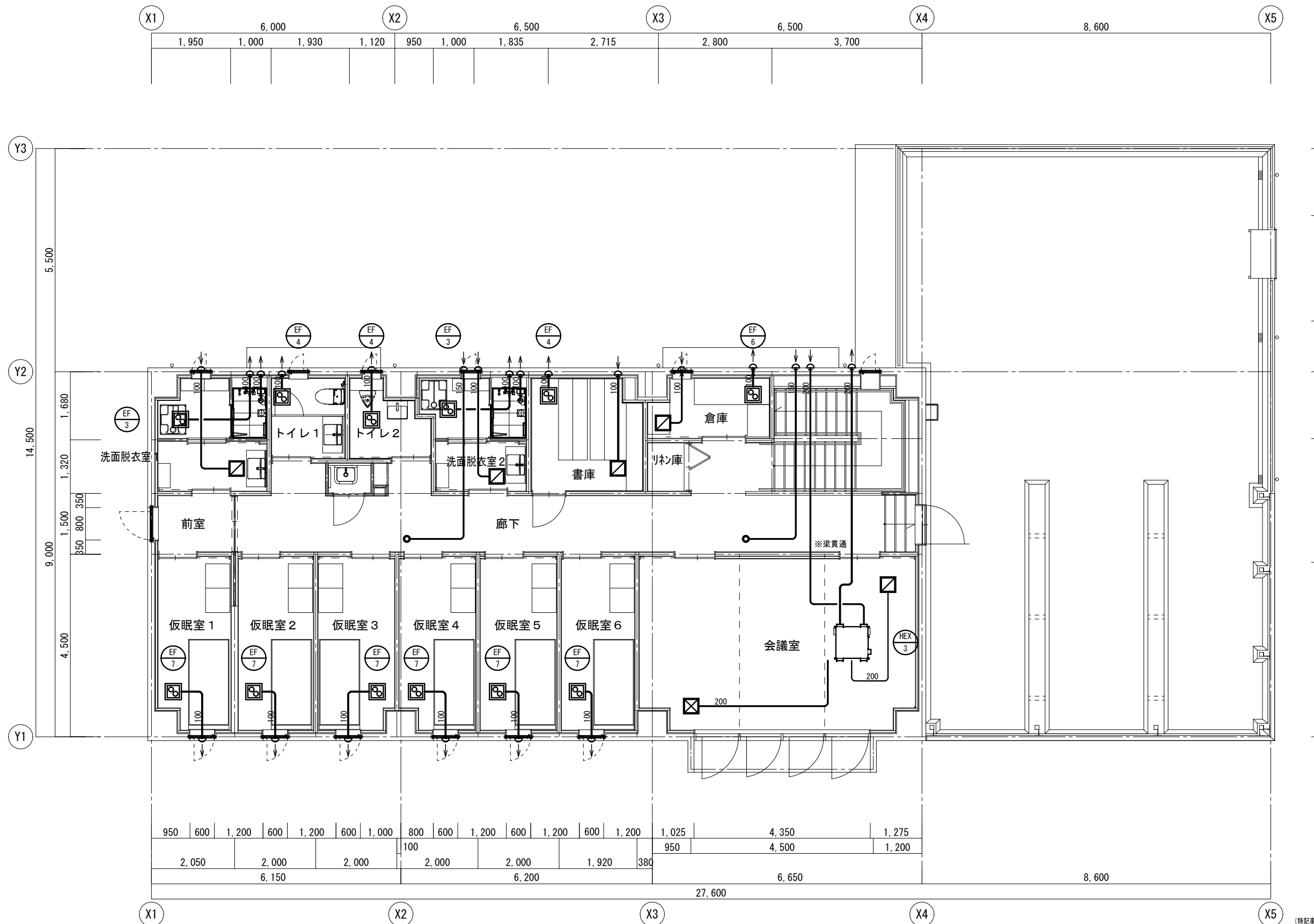
※ 冷媒管はメーカーにより異なる。

- (特記事項)
1. 屋外露出の冷媒管は、全て溶融アルミニウムラッキングにて施工すること。
 2. ㄣは、区画貫通位置を示す。
 3. 区画貫通箇所は、国交省認定品（ファイバリア等）を使用とする。
 4. 機器配置は、建築工事・電気工事と十分に調整の上、決定すること。

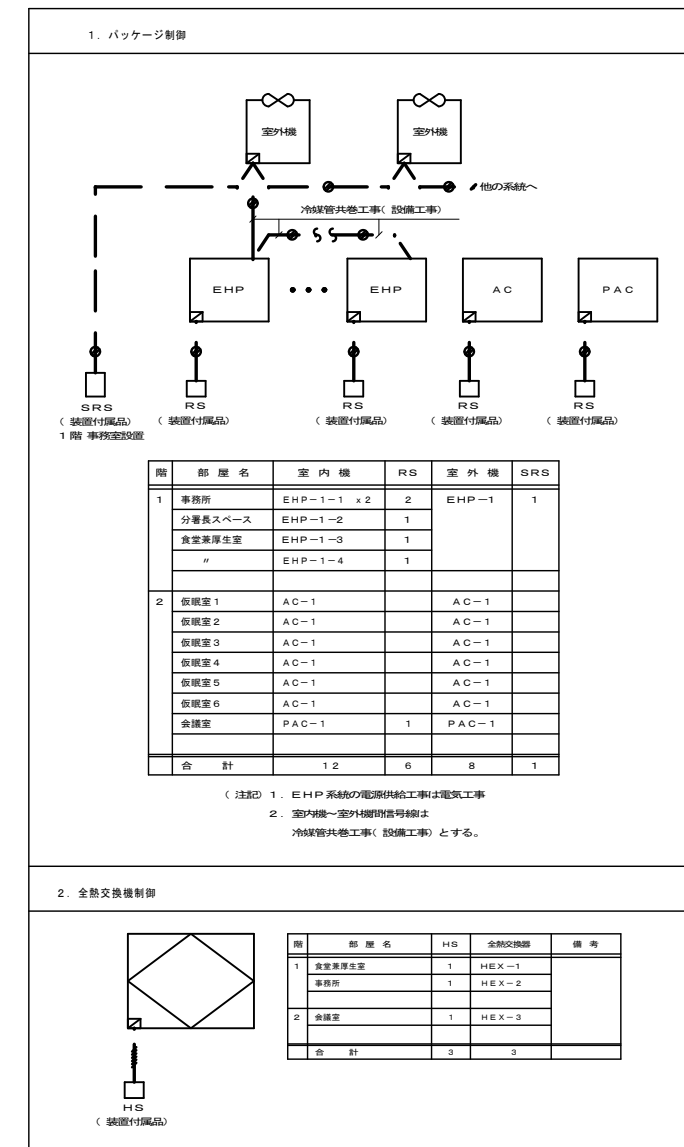
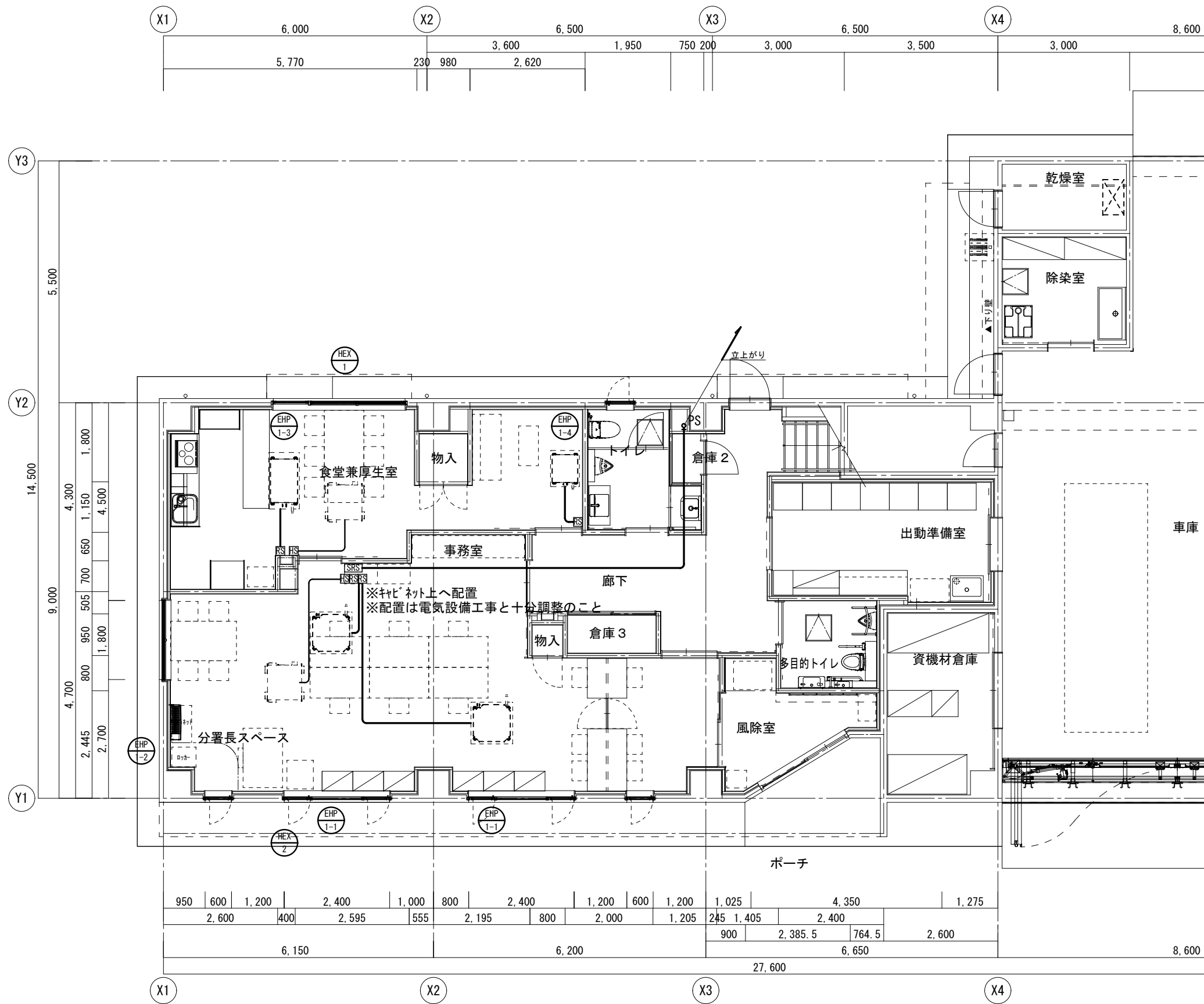


標準	
吹出口	GVS 300x550 (750 CMH) x 3
ボックス	GW25t内貼り x 3

- (特記事項)
1. 排気系統は、外壁から1m迄をGW25m/m巻きとする。
 2. 給気系統は、全てをGW25m/m巻きとする。
 3. 厨房排気及び給湯室排気系統は、全てをRW50m/m巻きとする。
 4. 全熱交換器系統は、全てをGW25m/m巻きとする。
 5. 防火ダンパーは、国交省認定品を使用とする。
 6. 機器配置は、建築工事・電気工事と十分に調整の上、決定とすること。



- (特記事項)
1. 排気系統は、外壁から1m迄をGW25m/m巻きとする。
 2. 給気系統は、全てをGW25m/m巻きとする。
 3. 厨房排気及び給湯室排気系統は、全てをRW50m/m巻きとする。
 4. 全熱交換器系統は、全てをGW25m/m巻きとする。
 5. 防火ダンパーは、国交省認定品を使用とする。
 6. 機器配置は、建築工事・電気工事と十分に調整の上、決定とすること。
 7. ≡ は、区画貫通位置を示す。



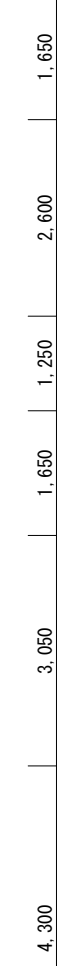
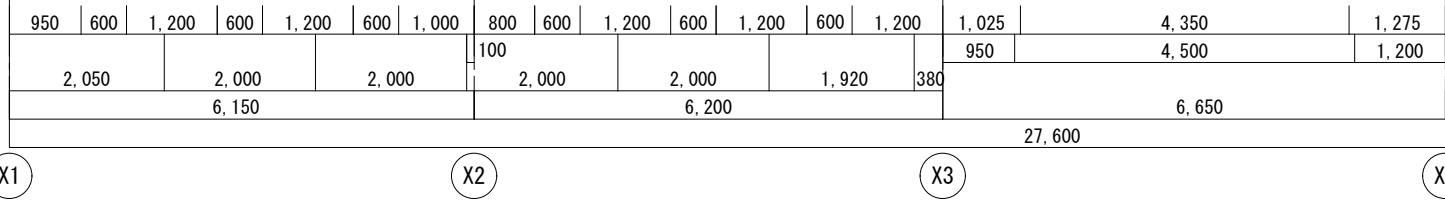
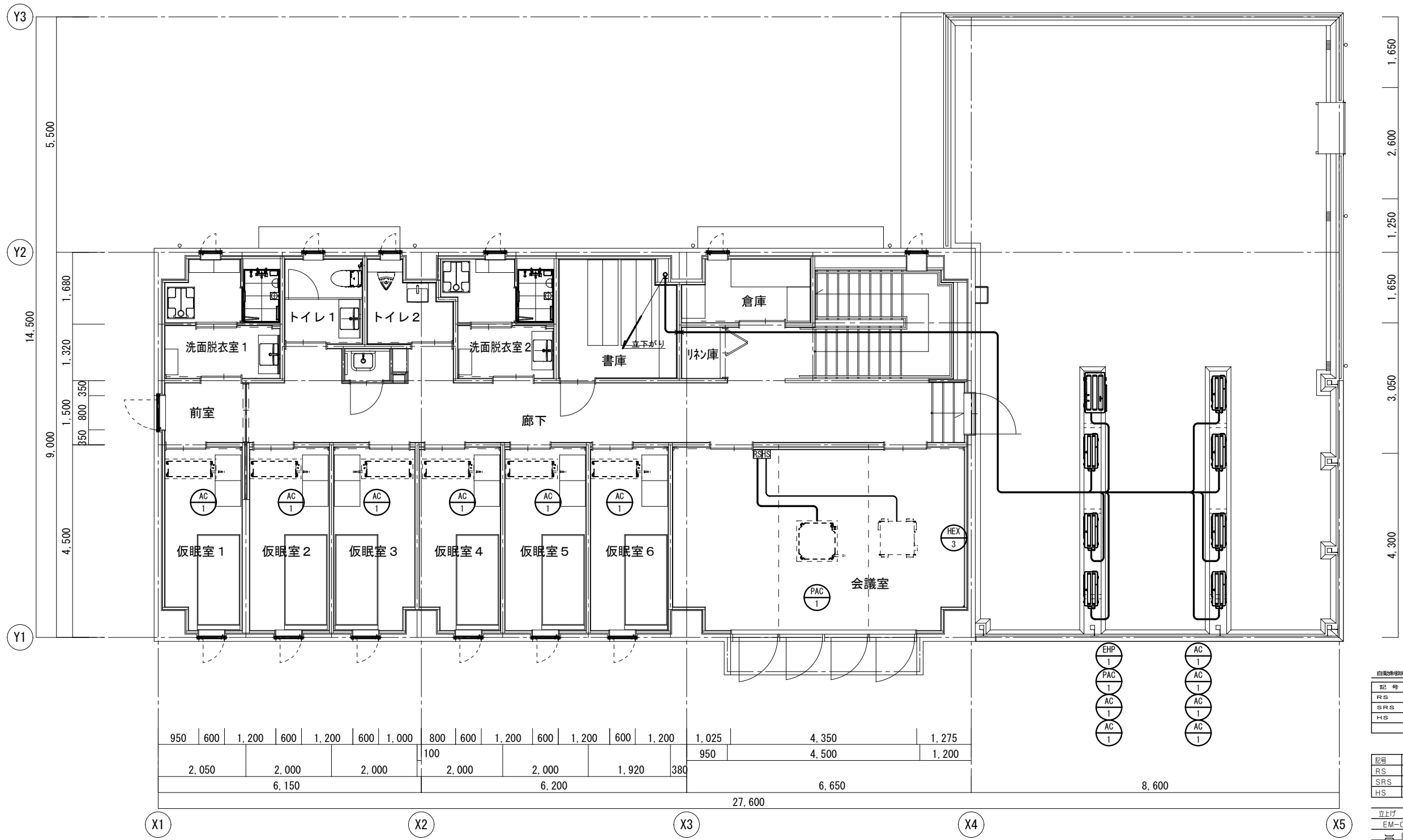
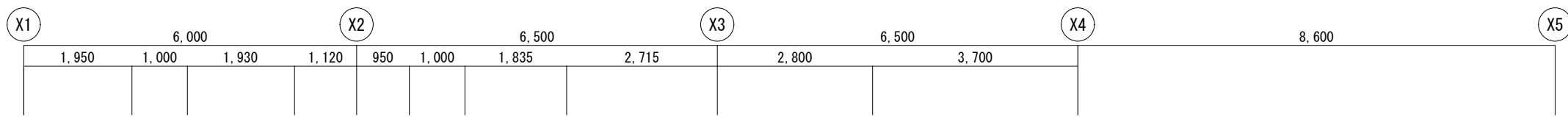
自動制御機器一覧表

記号	名称	備考
RS	パッケージリモコン	設置付属品
SRS	集中リモコン	設置付属品
HS	全熱交換機リモコン	設置付属品

※リモコン位置は監督員と協議の上決定とする。

記号	配線配管
RS	EM-CEES1.25' - 2c (E25)
SRS	EM-CEES 2' - 2c (E25)
HS	EM-CEES1.25' - 2c (E25)

立上げ
EM-CEES 2' - 2c (E25) SRS



自動制御機種一覧表

記号	名称	備考
RS	パッケージリモコン	設置付属品
SRS	集中リモコン	設置付属品
HS	全熱交換機リモコン	設置付属品

記号	配線配管
RS	EM-CEES1.25' - 2c (E25)
SRS	EM-CEES 2' - 2c (E25)
HS	EM-CEES1.25' - 2c (E25)

立上げ
EM-CEES 2' - 2c (E25) SRS
は、区画貫通位置を示す。

器具表

名称	仕様	合計	階															
			1階					2階					屋上		屋外		ノース	
			食堂兼厚生室	トイレ	多目的トイレ	出勤準備室	除染室	洗面脱衣室1	洗面脱衣室2	トイレ1	トイレ2	※	歩行屋根	屋外(北側)	屋外(東側)			
洋風大便器	CFS498BC (フラッシュタンク式、床置床排水)、 TCF5534AU (貯湯式温水洗浄便座、エコリモコン、擬音装置付)、 他付属品一式共 AC 100V 311.0W	2	1								1							
紙巻器	YH702 (棚付二連)、 他付属品一式共	2	1								1							
小便器	UFS900JCS (壁掛壁排水自動洗浄) 他付属品一式共 AC 100V 0.5W	3	1	1														
手すり	T112CU22 (小便器用手すり)、 他付属品一式共	1		1														
掃除用流し	SK22A TK22 (リムカバー)、 T23AE20C (横水栓)、 T37SGEP (Sトラップ)、 他付属品一式共	2	1															
洗面カウンター	MK50 (ポウル一体タイプ) (ポウル1、開口900)、 TLE28SS2A (サーモ自動水栓)、 止水栓金具、床排水金具、 M9P40A (ブラケット)、 他付属品一式共 AC 100V 1.0W	4	1							1	1	1						
洗面器	L710C (壁掛洗面器)、 TLE28SS2A (サーモ自動水栓)、 止水栓金具、床排水金具、 他付属品一式共 AC 100V 1.0W	1											1					
電気温水器 (EH-1)	ESD12BRX111D (貯湯量: 12L) (飲用仕様) 他付属品一式共 AC 100V 1.1kW	7	1		1	1				1	1	1	1					
化粧鏡	YM6090F (角形耐食鏡 600x900) 他付属品一式共	6	1		1					1	1	1	1					
洗濯機パン	PWP740N2W (640 x 740)、 排水トラップ、 他付属品一式共	3								1	1							
緊急止水栓	TW11R、 他付属品一式共	3								1	1							
混合水栓	TKS05305JA (台付シングル混合水栓)、 他付属品一式共	2	1			1												
混合水栓	TKS05314J (壁付シングルレバー混合水栓) 他付属品一式共	2					2											
シャワーユニット	TMS20C (壁付2ハンドル混合水栓シャワー付) 他付属品一式共	1																1
単水栓	T200SNR13C 他付属品一式共	3																1
不凍水栓柱	D-X3-2013120 NGP-5714F (ガーデンパン)、 他付属品一式共	1																1
不凍水栓柱	D-X3W-2013120 他付属品一式共	1																1

※上記型番・型式は、相当品とする。又、消費電力については上記表記以下とする。※貯湯式電気温水器の加熱能力、消費電力はJIS C 9219で規定された値である。

新設機器表

記号	名称	仕様	電気容量(参考)	数量	備考
	<給水設備>				
WT-1	災害用貯水槽	密閉式ステンレス製水道直結型非常用貯水槽 容量: 1500L 参考寸法: 1100φx2170H 使用圧力: 0.75MPa 他付属品一式共		1	屋上
	<排水設備>				
GS-1	ガソリントラップ	ステンレス製天吊形 容量: 80L 耐荷重蓋: T-20 他付属品一式共		1	車庫 KS2-80E 相当品
	<給湯設備>				
EH-2	電気式ボイラー	貯湯式 貯湯量: 503L 密閉式 ステンレス製 屋外設置型 バキュームブレーカー、 他付属品一式共	3φ200v 18.0 kW	1	屋上(歩行屋根) ESFK-500SAX 相当品
	<消火設備>				
(消)	消火器	ABC 10型 他付属品一式共		6	1F食堂兼厚生室、廊下、車庫 2F廊下 屋外少量危険物庫 自家発電設備

凡例

記号	種別	施工箇所	仕様
—●—	給水管		特記仕様書参照
—○—	雑排水管		
—○—	汚水管		
—○—	通気管		
— —	給湯管		
—R—	冷媒管		
—D—	ドレン管		
000φ	スリット外		
+	仕切弁・逆止弁		
+	水栓金具		

※記載無いもの、改修後は、特記仕様書に準じる。

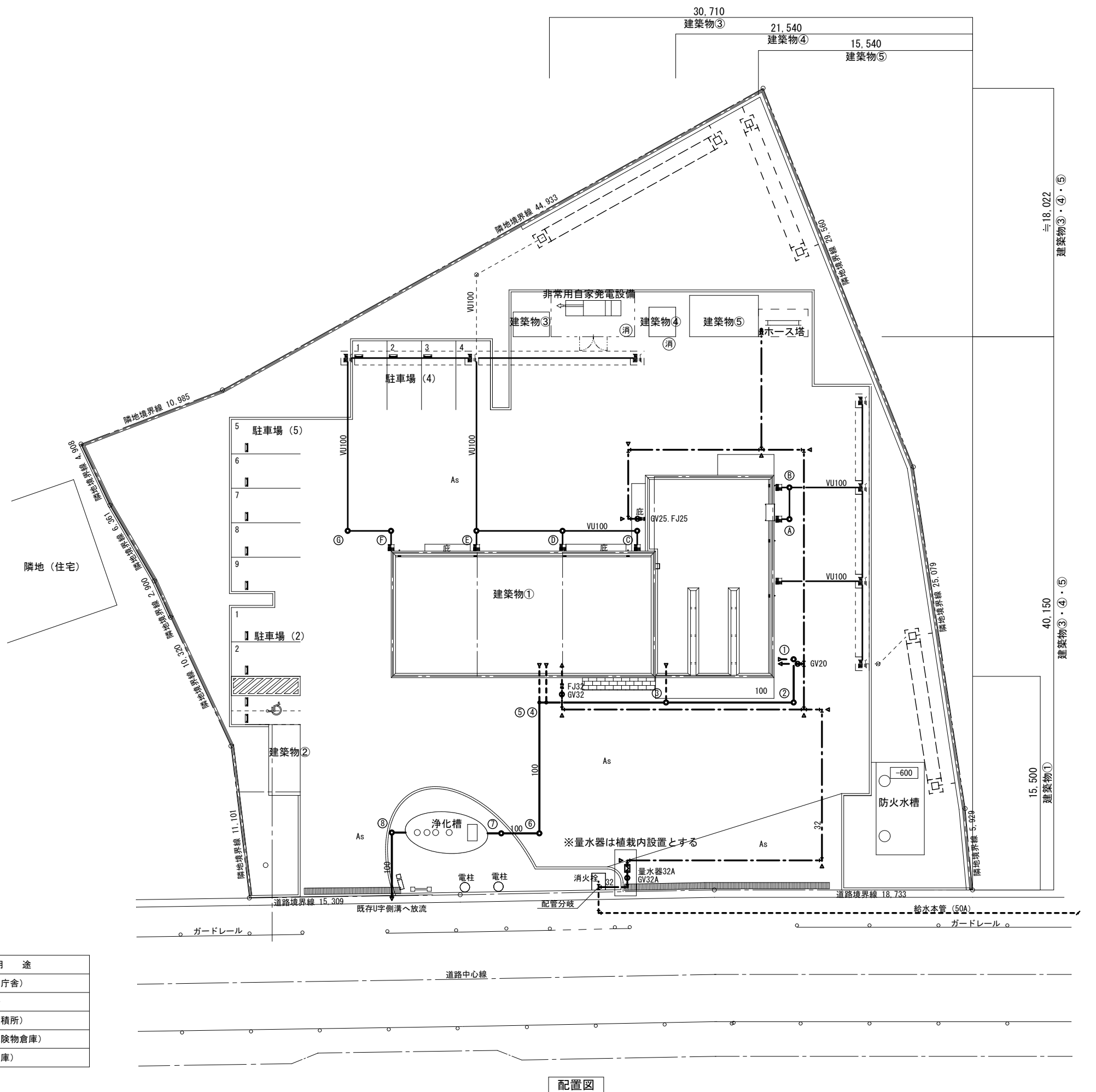
樹表

記号	名称	寸法 (mmxmm)	樹間距離 (m)	樹深さ (mm)	管底深さ GL- (mm)	地盤高さ GL± (mm)	蓋仕様	重荷重	備考
【汚水系統】									
①	小口径樹	90L	---	300	300	± 0	塩ビ蓋	T 2 5	150φ x 100φ
②	"	"	2.64	340	340	"	"	"	"
③	"	90Y	9.26	450	450	"	"	"	"
④	"	"	8.70	560	560	"	"	"	"
⑤	"	"	0.50	660	660	"	"	"	"
⑥	"	90L	9.50	680	680	"	"	"	"
⑦	"	ST	2.76	720	720	"	"	"	"
⑧	"	90L	---	500	500	"	"	"	"
【雨水系統】									
A	小口径樹	90L	---	300	300	± 0	コンクリート蓋	T 2 5	150φ x 100φ
B	"	90Y	2.30	330	330	"	"	"	"
C	"	90L	---	300	300	"	"	"	"
D	"	90Y	5.42	340	340	"	"	"	"
E	"	"	6.25	390	390	"	"	"	"
F	"	90L	---	300	300	"	"	"	"
G	"	"	3.14	330	330	"	"	"	"

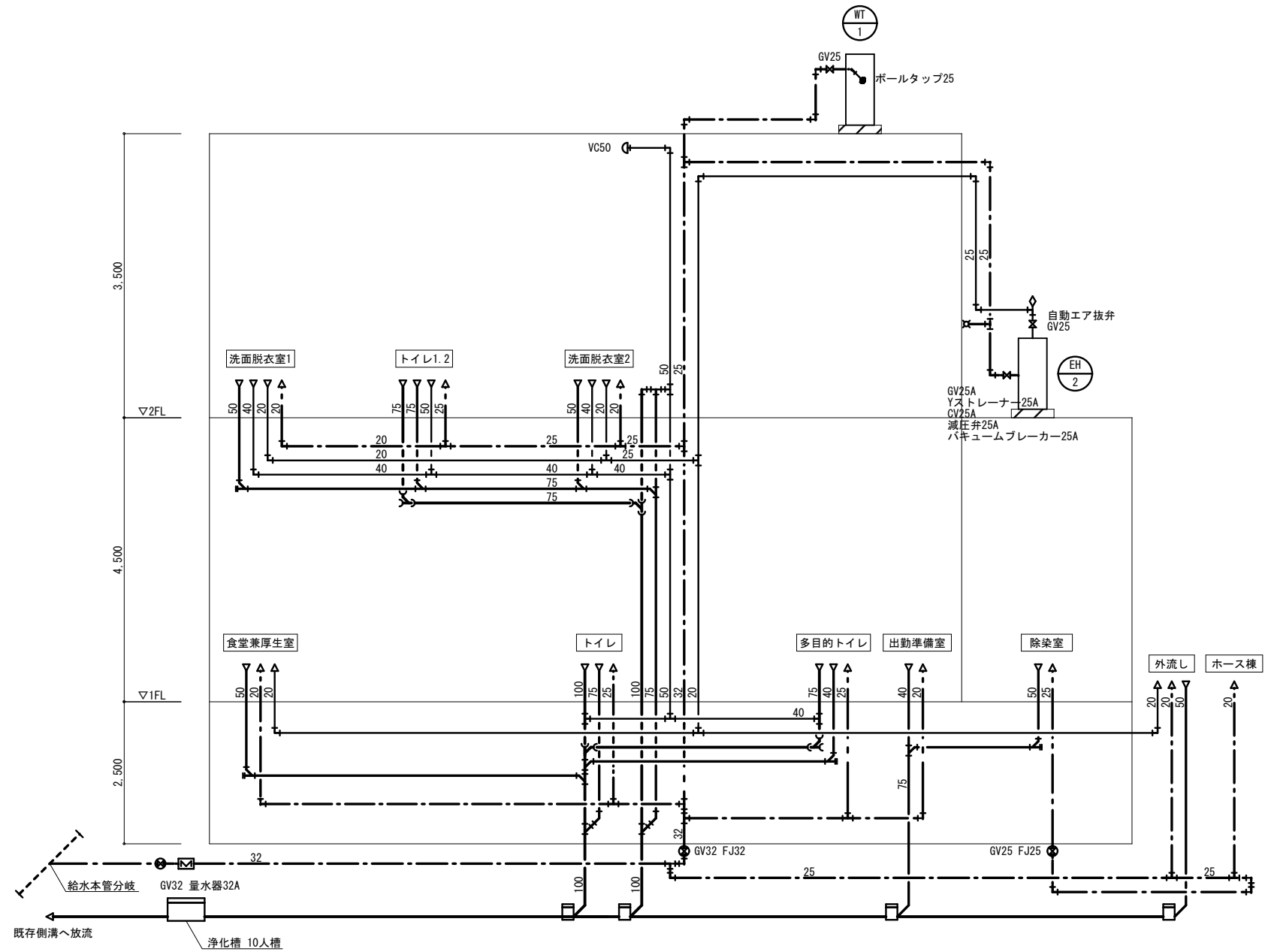
※ 樹深さ・地盤レベルは参考値とし、実際の施工に当たっては現地を充分調査の上、排水管横縦断面を作成し施工のこと。
 ※ 塩ビ樹とは、ホリプロビレン製相当品を示す。
 ※ 塩ビ樹カラーはブラックとする。

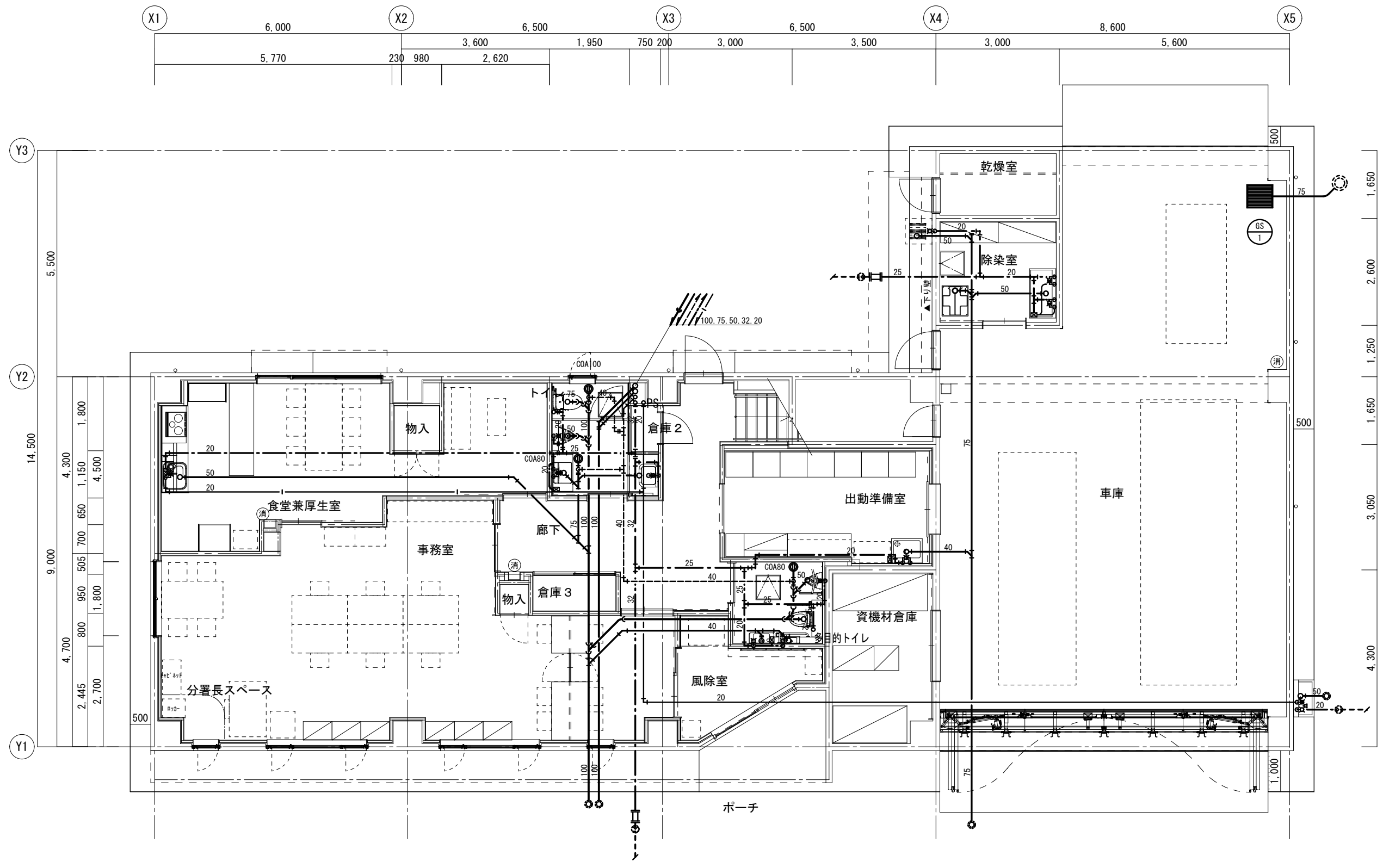
建築物リスト

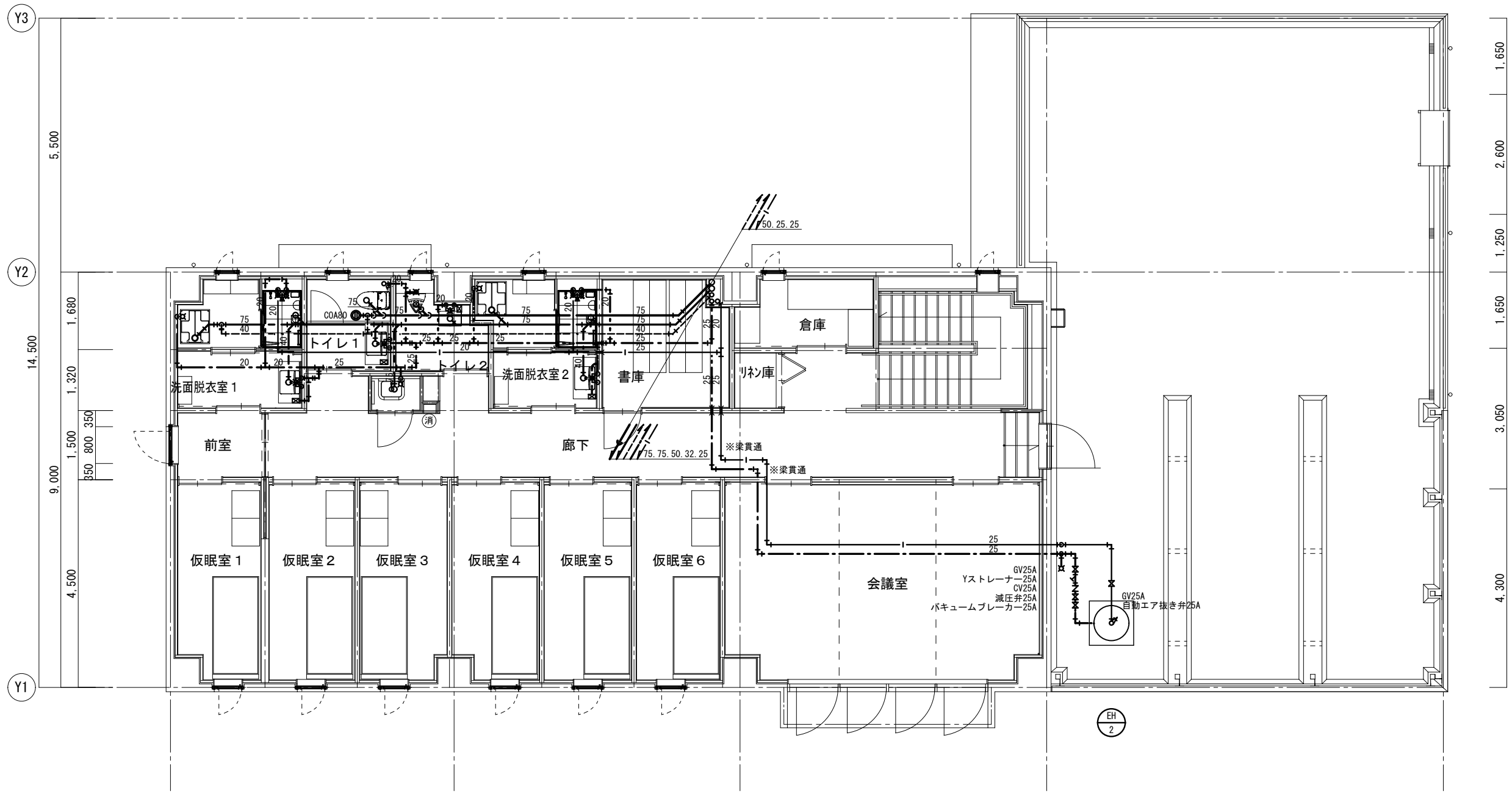
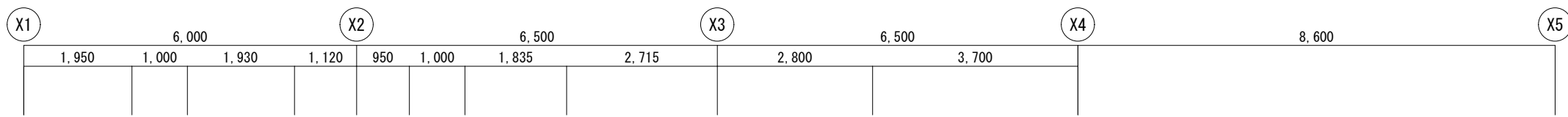
番号	用途
建築物①	消防署分署 (庁舎)
建築物②	自転車駐車場
建築物③	倉庫 (ごみ集積所)
建築物④	倉庫 (少量危険物倉庫)
建築物⑤	倉庫 (水防倉庫)



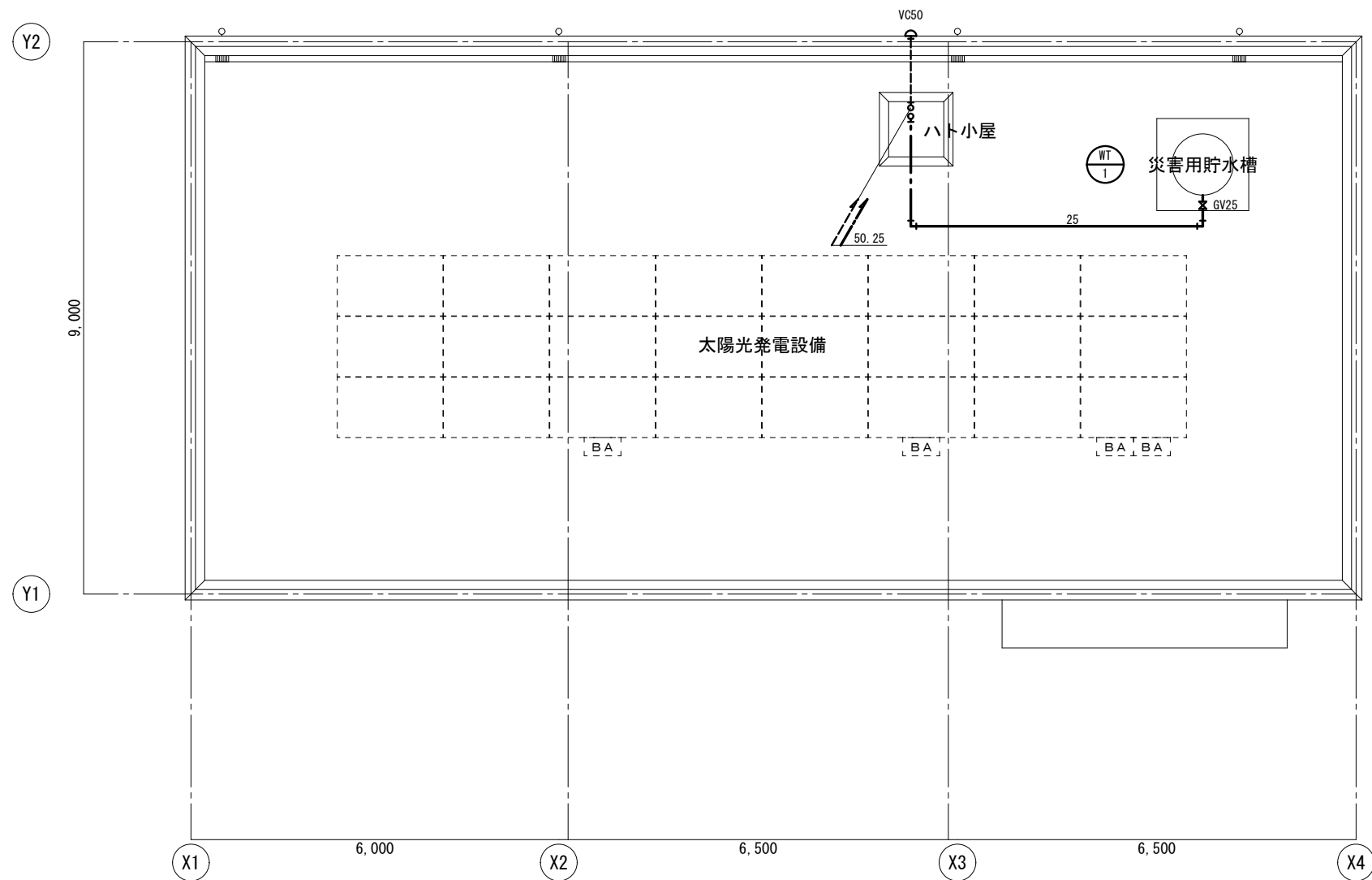
配置図



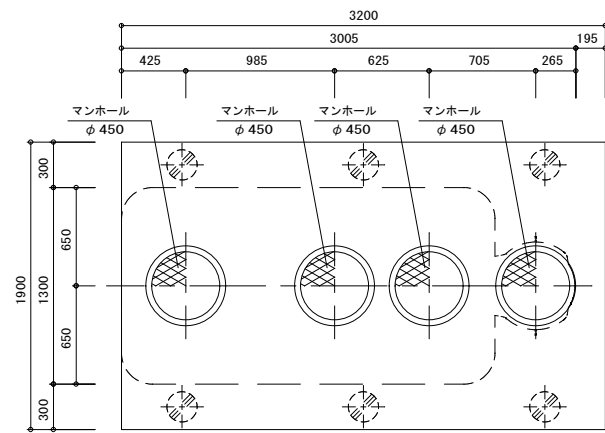




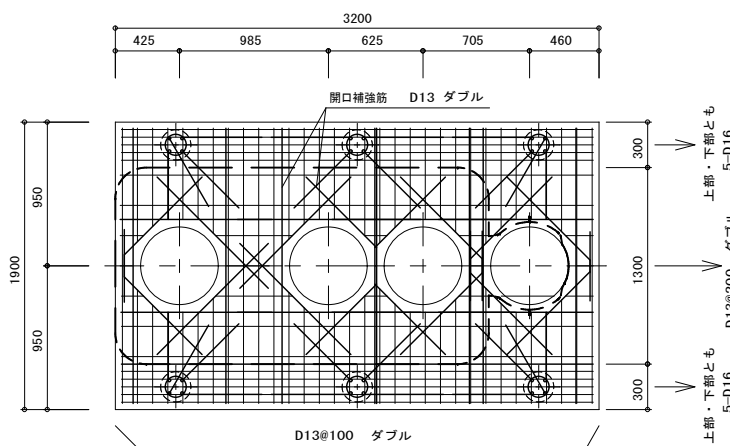
- (特記事項)
- 給湯器は転倒防止措置 告示第1447号を設けること。
 - ⌋ は、区画貫通位置を示す。



(特記事項)
1. 災害用貯水槽は転倒防止措置 告示第1447号を設けること。



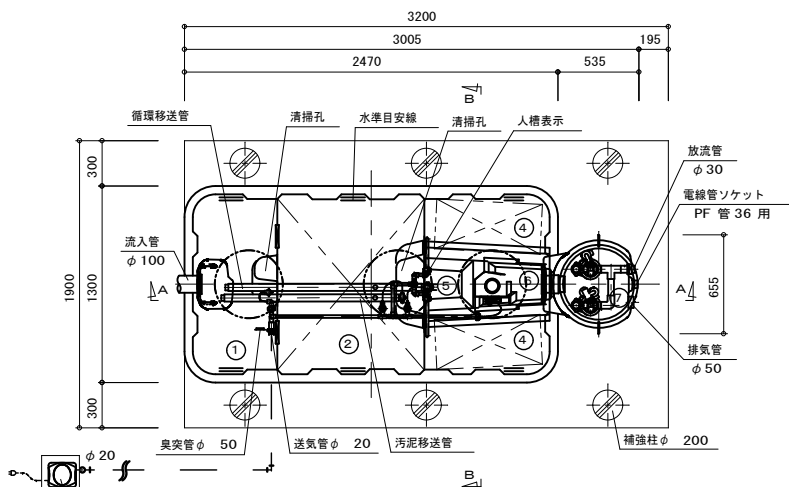
スラブ平面図 S=1/25



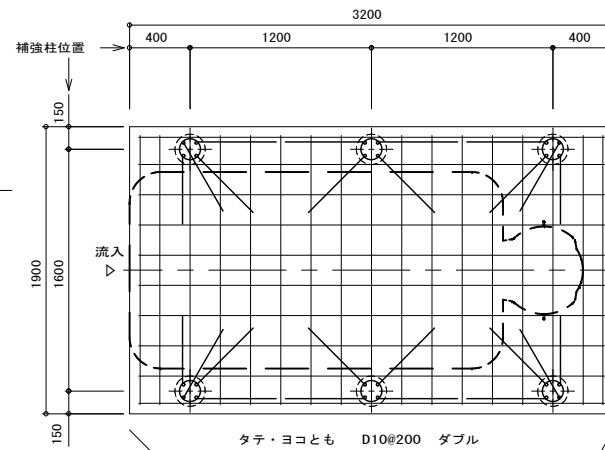
スラブ配筋参考図 S=1/25
(建築工事)

一般事項	
コンクリート	F _c = 21 N/mm ²
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
開口補強筋	D13ダブル
地業	砕石又はRC 40~0

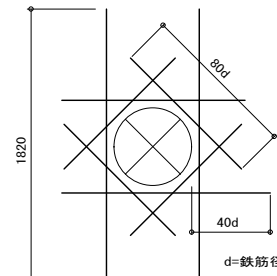
上部・下部とも D13@200 ダブル
上部・下部とも 5-D16



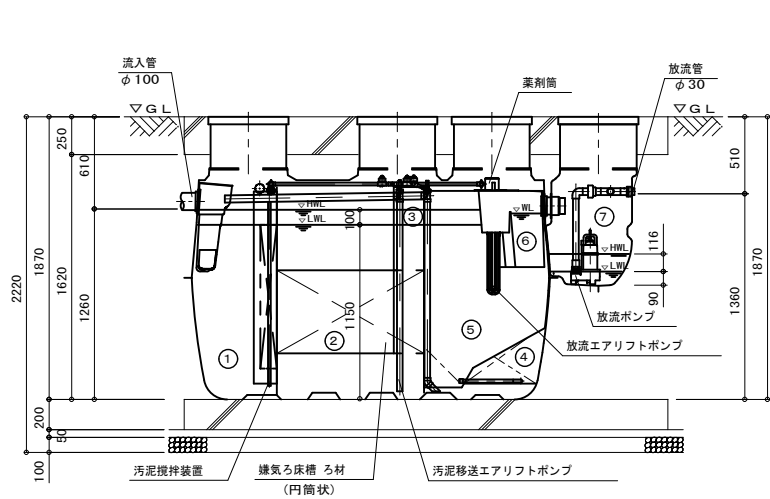
内部平面図 S=1/25



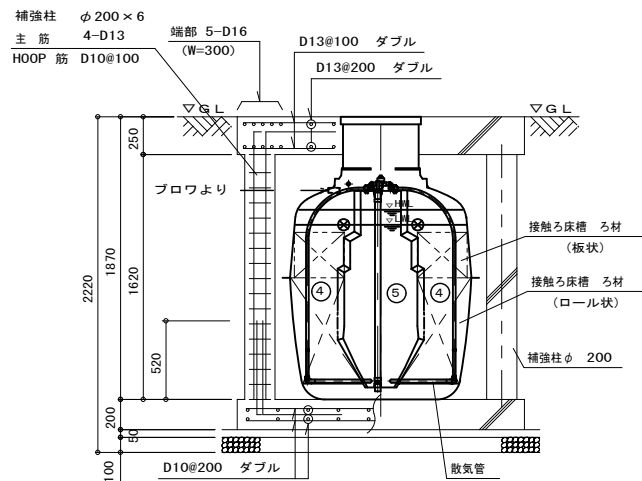
ベース配筋参考図 S=1/25
(建築工事)



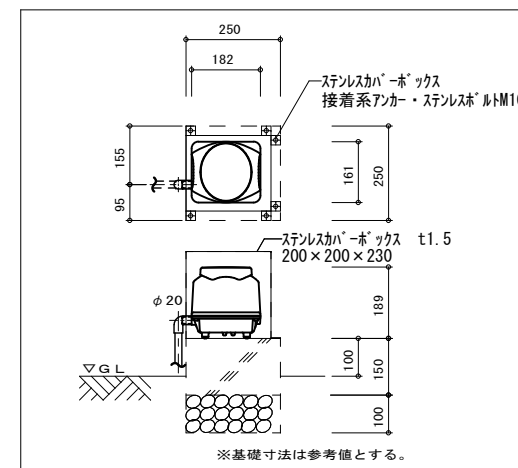
(ダイヤモンド補強: D13ダブル)
開口補強筋詳細図



A-A断面図 S=1/25



B-B断面図 S=1/25



ブロウ平・断面図 S=1/20
※ステンレスカバーボックス・基礎固定共

仕様表

設計番号	NS-2024-05-9B			
処理方式	接触ろ床方式			
型式名称	フジクリーン CA-10型	重量: 250Kg		
認定番号	5-19K-H-007-2			
適合番号	型01CadOa0104328			
処理対象人員	10人			
汚水量	2.00m ³ /d			
流入水質	BOD200mg/L	COD100mg/L	T-N45mg/L	SS160mg/L
放流水質	BOD 20mg/L	COD 30mg/L	T-N20mg/L	SS 15mg/L
① 沈殿分離槽	有効容量	0.635	m ³	
② 嫌気ろ床槽	有効容量	1.208	m ³	
③ ビークカット部	有効容量	0.246	m ³	
④ 接触ろ床槽	有効容量	0.593	m ³	
⑤ 処理水槽	有効容量	0.326	m ³	
⑥ 消毒槽	有効容量	0.021	m ³	
⑦ 放流ポンプ槽	有効容量	0.030	m ³	
総容量	有効容量	3.029	m ³	

機器装置仕様

嫌気ろ床槽ろ材(円筒状)	PPまたはPE	充填率	43%		
接触ろ床槽ろ材(ロール状)	PPまたはPE	充填率	61%		
接触ろ床槽ろ材(板状)	PPまたはPE	充填率	21%		
ブロウ	吐出量	口径	消費電力	運転方式	台数
	110L/min	φ20	75W	連続運転	1
放流ポンプ	吐出量	口径	消費電力	運転方式	台数
	80L/min	φ30	130W	自動交互運転	2
槽本体	FRP				
パイプ類	PVC、PPまたはPE				
ろ材	PPまたはPE				
マンホール	鋼鉄(5000K)				
消毒剤	固形塩素剤				

配管仕様	露出配管(ブロウ廻り)	VP
	土中配管	φ40以下~VP・φ50以上~VU
	槽内配管	メーカー仕様

- 注1) 上部はT-20荷重とする。
- 注2) 機器電源は単相100V、総電力は335W(50Hz) 一次側引込電容量は15A以上とする。
- 注3) 図中の"GL"は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からブロウまでの距離は5m以内とする。
- 注5) 流入管・放流管工事は設備工事とする。
- 注6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注7) ブロウ付近にアース付きコンセント×3を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
- 注8) 地耐力は60KN/m²以上必要とする。
- 注9) 土工事は別途とする。
- 注10) 製品全高は、製品規格で+10mm、-20mmの公差があります。 流入・放流管は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

放流ポンプ槽配管仕様	
排気管	VU50
電線管	PF 36

- 注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続のこと。
- 注2) 排気管の放出部は、側溝の最大水位より100mm以上(目安)上部に設置のこと。
- 注3) 排気管は雨水配管や放流配管、他の汚水配管と絶対に合流接続しないこと。
- 注4) 排気管は途中で水溜りが起こるようなV字配管にしないこと。
- 注5) 電線管の両端はシリコンシーラントなどで必ずコーキング処理のこと。
- 注6) これらの処理を怠ると、浄化槽内で発生したガスが浄化槽内、および電線管の接続 先付近に設置している設備・機器の金属部を腐食し、機器破損・障害の生ずるおそれがあります。

嵩上 現状
浄化槽 = 300mm